

校訓「不撓不屈」 原校区小中一貫教育目標「自立と共生」  
学校教育目標「自芯と優情を育み 自ら行動できる生徒」



しお ざい  
**潮 騒**



沼津市立原中学校  
学校だより NO.9  
令和7年12月15日  
文責：中嶋記恵子

## 【師走号】「二つのステージ」を駆け抜けて！ ～協力の輪を広げ、自分を鍛えた二学期～

玄関を彩るポインセチア（猩々木）の赤や、きらめくクリスマスリースが、華やかな中に慌ただしい年の瀬の訪れを知らせています。

8月から始まった2学期は、「協力し合う喜び」と「精一杯取り組む成就感」を追求した第2ステージ（「アイデア結集情熱全開」）を経て、学習面やキャリア教育を通じて「将来を思い描き、自分の良さを発揮する」第3ステージ（「自分パワーアップ」）へと、生徒一人一人が深く成長を遂げた、長く充実した時間となりました。

いよいよ本日（15日）からは、これまでの成長を振り返り、来たる3学期へのステップを話し合う三者面談が始まります。

今号では、この充実した2学期の後半を彩った様々な活動の報告を、写真とともにお届けします。

特に11月は、創立30周年を迎えたコミュニティ文化祭での潮騒太鼓披露をはじめ、1年生の沼津市名所巡り、2年生の校区内での職業体験、3年生の地域発展提案など、郷土・地域と深く関わり、大きな実りを得た活動が目白押しでした。生徒たちは温かい地域に支えられ、自ら考え行動する力を大きく伸ばしています。また、進路学習やF組劇も行われ、確かな学びを重ねています。

来週12月23日（火）には2学期終業式を迎え、冬休みに入ります。残りの日々も、生徒たちがこの長かったステージで積み上げた成果を自信に変え、新たな年のステップへとつなげられるよう、教職員一同、力を尽くしてまいります。今学期も本校の教育活動への御理解、御協力ありがとうございました。皆様、よいお年をお迎えくださいませ。



大石明美 教諭 書

- ・猩々木（しょうじょうぼく）挿して近づく**クリスマス**  
阿部みどり女
- ・贈り物の数（かず）を盡（つく）して**クリスマス**  
正岡子規

※折り紙の作品は、生徒の制作によるものです。

## \*第43回原地区コミュニティ文化祭(11/15・16)

地域に響け! 潮騒太鼓と作品群 ～コミュニティ創立30周年を祝して～



### 【潮騒太鼓】

太鼓に想いを乗せて、熱演!  
迫力の潮騒太鼓が30周年の祭典を彩りました。

### 左【美術部が制作した30周年記念ポスター】

地域の30周年を祝しデザインした作品です。

### 右【タイムカプセル封入式】

「未来の自分たちへ」ポスターとメッセージを封入しました。美術部を代表して部長が参加しました。



## カプセル封入





【書写・美術・家庭科 作品】力作揃い。日頃の学びの成果を地域の方に見ていただきました。  
「沼津市美術展」と兼ねての展示です。※「沼津市美術展」は校区ごとに開催することになっています。

## 郷土・地域とつながる探究学習・キャリア教育

### \* 郷土沼津の魅力を再発見! ~1年生 沼津市名所巡り(歴史&自然)~(11/19)



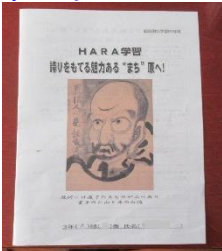
【探究学習】「なぜ?」を掘り下げる探究の旅。足で稼いだ情報が学習を深めます。  
名所:三枚橋城、沼津城、城岡神社、日枝神社、光長寺、門池、岡宮浅間神社のクス、鮎壺の滝 など

### \*地域のプロに学ぶ二日間 ~2年生 責任と喜びを感じた職業体験~(11/19・20)



【キャリア教育】働くことの厳しさと楽しさを体感。未来を考える貴重な一歩。プロの意識に触れ、視野が広がりました。地域事業所様、大変お世話になりました!

### \*地域を動かす! ~3年生 未来提言~(11/20)



【探究学習】地域課題解決へアイデア結集。全グループが熱意ある提言を行い、教室では真剣な質疑応答が飛び交いました。提言は、さらなる深みへと向かいます。

### 全校で創り上げた感動のステージ! F組劇『もう一つの浦島太郎』

11月25日、F組の生徒たちによる劇『もう一つの浦島太郎』が全校生徒の前で上演されました。誰もが知る物語をF組ならではのアレンジで演じ、時間をかけて取り組んできた成果を最高の形で披露してくれました。今回の劇の最大の魅力は、演技手と観客が一体となった全校生徒での大盛り上がりでした。F組の生徒たちの時に飛び出す見事なアドリブ台詞に会場は笑いに包まれ、観客である生徒たちも惜しみない拍手と声援を送りました。また、劇の成功の裏側では、照明や小道具など多くの生徒がボランティアとして協力。さらに、先生方の出演も加わり、盛り上がり一層拍車がかかりました。この「皆で創り上げる」温かい雰囲気が、今年の劇を特別なものにしたと言えるでしょう。

F組の皆さんが私たちにくれた感動と勇気に心から感謝します。「ありがとう!」

